

チーム金剛中だより

令和7年6月号

寺池台一丁目1番1号 0721-29-1404



発行責任者 校長 西岡 隆

<http://www.city.tondabayashi.osaka.jp/kongo/>

○ 「ありがとう」を伝えること

平和学習の一環として、5月7日(水)に全学年で谷ノ上 朋美さんのひとり芝居「ゆんたくしまししょうね」を鑑賞しました。一人で何役も演じ分ける谷ノ上さんの迫力ある演技から、改めて沖縄戦の悲惨さや戦争の恐ろしさを実感した生徒が多かったように思います。

当日は、吉村市長と植野教育長も共に鑑賞され、吉村市長からは感想とともに「これからも平和を守り続けていくことの大切さ」についてお話をいただきました。

また、谷ノ上さんからは、「明日のことはどうなるかわからない。だから、今日を一生懸命に生きる。そして、今日、大切な人に必ず感謝の気持ちを伝えよう」という宿題をもらいました。さて、みなさん、この宿題はやりましたか？

感謝の気持ちを言葉で伝えあう・伝え続けることで、お互いの思いやりの輪が広がります。その輪がどんどん広がっていけば、やがて社会全体で平和を願う強く大きな力になっていくでしょう。そのために、まずは日々の学校生活でも、友達に、班やクラスの仲間に、「ありがとう」の気持ちを伝えていきましょう。



○ 自分たちにできること



本校にはチャリティ自販機があり、売り上げの一部がケニアのキベラスラムにある「マゴソスクール」に寄付されるようになっています。(マゴソスクールは、孤児や元ストリートチルドレン・虐待などを受けた子どもたちを受け入れ、支援している施設です)

本校では以前より、この「マゴソスクール」を運営されている早川 千明さんの講演会を行っており、今年度は5月20日(火)に1年生対象の講演会を実施しました。また、これまでに早川さんの講演を聞いた生徒たちが、マゴソスクールの子どもたちのために「自分たちにできることは何か？」と考え、募金や「わっくカフェ」での手作り作品の売り上げを寄付する活動などに取り組んできました。そして、56期生が継続的に寄付を集める方法について考え、企業との相談を重ねながら、この自販機の校内設置を実現させたのです。

これは、「学び」から得た知識や気づきが「行動」につながり、社会貢献にもつながった一例ですが、きっと他にも、身の周りにはたくさんの「自分たちにできること」があるはずです。そこで、みなさん一人ひとりも考え、実際の行動につなげてください。それが、自分自身の成長にも、そして、みんなの役に立つことにもつながっていきます！

6月の行事予定

日	曜	給食	部活	行 事
1	日			
2	月	○	×	会議日 教育実習受入れ(～20日)
3	火	○	○	
4	水	×②③	○	1年校外学習(大阪・関西万博)
5	木	○	○	
6	金	○	○	
7	土			
8	日			3年登校日
9	月	①②×	×	3年修学旅行(沖縄) 会議日
10	火	①②×	○	3年修学旅行(沖縄)
11	水	①②×	○	3年修学旅行(沖縄)
12	木	①②×	○	3年代休
13	金	○	○	終礼・生活アンケート
14	土			
15	日			
16	月	○	×	レントゲン13:00～ 委員会活動
17	火	○	○	〈45分×6〉 放:カウンセリング①
18	水	○	×	〈45分×6〉 放:カウンセリング② テスト一週間前部活動停止
19	木	○	×	〈45分×6〉 歯科検診9:00～ 会議日
20	金	○	×	〈45分×6〉 6限:生徒集会 放:カウンセリング③
21	土		×	
22	日		×	
23	月	○	×	水曜の時間割 テスト前補充 会議日
24	火	○	×	木曜の時間割 テスト前補充
25	水	×	×	期末テスト①
26	木	×	×	期末テスト②
27	金	×	15:30 再登校	期末テスト③ 富田林支援学校との交流会
28	土			
29	日			
30	月	○	×	会議日

相談室

各種相談窓口

ハラスメント相談窓口

校長(西岡)、教頭(村井)、
生徒指導(成瀬)、養護教諭(藤井)

スクールカウンセラーへの相談窓口

教頭(村井)、生徒指導(成瀬)

支援教育・発達相談の窓口

支援教育コーディネーター(田中なおと)

いじめ等生徒指導の相談窓口

生徒指導(成瀬)

健康・食物アレルギー相談窓口

養護教諭(藤井)

上記以外の教職員でも構いません

7月10日(木)11日(金)14日(月)15日(火)16日(水) 期末懇談会

7月18日(金)1学期終業式